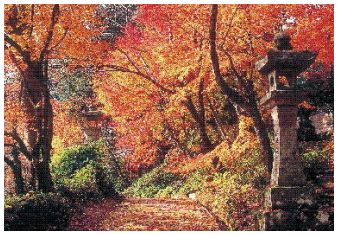
第６期
錦町総合計画

基本構想・基本計画【前期】

（錦町人口ビジョン／第2期にしき・まち・ひと・しごと創生総合戦略）



山の中の海軍の町 にしき
ひみつ基地ミュージアム
人吉海軍航空基地跡

熊本県球磨郡錦町

～町　民　憲　章～

一、自然を大切にする美しい町をつくります

一、きまりを守る住みよい町をつくります

一、健康で明るい町をつくります

一、文化を育む豊かな町をつくります

一、希望と生きがいのある楽しい町をつくります

平成峠からの景色

剣豪とフルーツの里　錦　町

町　章

錦町のカタカナの二を図案化したもので、人吉球磨地域の中央に位置することと、町内一円の融和を円によって表現し、更に山と川と太陽の図案は、将来に伸びる錦町を象徴するものです。

町鳥：ホオジロ

町花：ツクシイバラ

町木：カシ

はじめに

私たちの郷土錦町は、美しく豊かな自然環境に恵まれ、歴史と伝統に裏打ちされた文化が息づく、大変魅力的な町です。令和２年４月１日に町制施行 55 年を迎えますが、昔と変わらぬ町の姿が守り継がれているのも、町民の皆様のたゆまぬご努力の賜です。心より感謝申し上げます。

錦町は、これまで「豊かな魅力ある郷土を築こう」「豊かで潤いのある町へ」「魅力あるふるさと」「人の和で輝くまちにしき」「人の和を大切にし 老いても安心して暮らせる町 若人に夢と希望が持てる町」を町の将来像に掲げ、５期にわたる総合計画の中で町の発展に資する各施策を実行して参りました。

そして、この度、同じく「人の和を大切にし 老いても安心して暮らせる町 若人に夢と希望が持てる町」を町の将来像に掲げ、令和２年度から８年間に及ぶ「第６期錦町総合計画」を策定しました。これまでの総合計画は期間を 10 年間としていましたが、急速な少子高齢化や情報通信技術等の大幅な進展など、社会情勢の変化が加速度的に進んでいることに鑑み、現状に柔軟に対応していけるよう期間を８年間に設定しました。

若年層を中心に、働く場を求めて都市部、特に東京圏への過度な人口流入が続いています。そのため、熊本県内で高い出生率を誇る錦町でも人口が減少しており、地場産業の担い手が不足し、企業の誘致に必要な地元人材の確保も困難となることで働く場が失われ、さらに人口が減少していくという悪循環が現実化しています。

そのため、東京圏への人口の過度な集中を是正し、地方への人の流れを生み出す「地方創生」の取組みが国を挙げて進められておりますが、錦町でも平成 27 年 10 月に「第１期にしき･まち･ひと･しごと創生総合戦略」を策定し、重点的に対策を講じて参りました。
この度、第６期錦町総合計画を策定するにあたり、「第２期にしき・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体的に整備し、地方創生の取組みをより加速させ、強化することにしました。

地方創生の流れを踏まえた新たな総合計画のもとに、錦町に暮らす全ての町民の皆様の英知を結集させ、誰もが幸せを実感でき、この町に愛着と誇りが持てる故郷づくりに一層取り組んで参ります。

最後に、本計画を策定するにあたり、貴重な施策提言をいただいた「錦町まちづくり委員会」の委員の皆様や、計画内容へのご意見をいただいた「にしき・まち・ひと・しごと創生推進会議」の委員の皆様を始めとする町民の皆様、関係各位に謹んで感謝を申し上げます。

令和２年３月

錦町長　森　本　完　一

目　次

第１部　総　論

第１章　序論
1 総合計画策定の趣旨と方針 …… 2
2 計画の構成と期間 …… 3

第２章　わが町の姿
1 位置と地勢 …… 5
2 歴史 …… 5
3 人口 …… 6
4 産業 …… 8
5 錦町の地域特性 …… 10

第２部　人口ビジョン

第１章　人口の現状分析
1 錦町人口の長期推移 …… 12
2 転入・転出の動向 …… 13
3 出生の状況 …… 25
4 雇用・就労の状況 …… 27

第２章　人口の将来展望に必要な調査
1 町民の出産、子育てに関する意識 …… 35
2 町民の移住に関する意識 …… 40
3 球磨地域内の人口流入・出 …… 45
4 錦町及び球磨地域の将来人口推計 …… 51

第３章　人口の将来展望
1 目指すべき将来の方向 …… 55
2 人口の将来展望 …… 56

第３部　基本構想

第１章　錦町の将来像 …… 60

第２章　政策の体系と方針
1 基本計画の施策体系 …… 61
2 基本計画の策定方針 …… 62

第４部　基本計画【前期】［第２期にしき・まち・ひと・しごと創生総合戦略］

第１章　ひと　ひとが集い暮らしやすい町 ……64

１ 移住・交流対策

① 関係人口の創出 ……65

② 空き家・空き施設の活用 ……66

③ 移住・定住の支援 ……67

④ 国際交流の推進 ……68

２ 少子・子育て対策

① 出産に対する支援 ……69

② 子育てに対する支援 ……69

３ 福祉・介護・健康づくり対策

① 高齢者福祉対策 ……71

② 障がい者福祉対策 ……73

③ 健康づくり対策 ……73

４ 教育・文化の支援対策

① 学校教育の充実 ……74

② スポーツを取り巻く環境変化への対応 ……75

③ 家庭教育への支援 ……76

④ 文化財の保存・活用 ……76

第２章　しごと　ひとが安心して働ける町 ……77

５ 創業・企業誘致支援対策

① 創業等の支援 ……78

② 企業誘致の推進 ……78

６ 商工・観光振興対策

① 商工業の振興 ……80

② 観光の振興 ……80

７ 農林業振興対策

① 農林業環境の整備 ……82

② 農林業従事者への支援 ……83

第３章　まち　ひとが夢・希望・誇りを持てる町 ……85

８ まちの基盤整備対策

① 道路等の整備 ……86

② 公園等の整備・活用 ……86

③ 公共交通の整備 ……87

④ 居住環境の整備 ……88

９ 防災・安全対策
① 国土強靭化の推進 ……89
② 地震・大雨・台風等の災害対策の充実 ……89
③ 防犯対策の充実 ……89
１０ 行政運営の改善対策
① 町政への町民参加の推進 ……90
② 行財政改革の推進 ……90
１１ 住民活動の支援対策
① 町内会・自治会活動への支援 ……92
② 民間団体への支援 ……92
第４章　計画の推進
１ 町民と行政の協働 ……93
２ 効率的・効果的な行政運営 ……93
３ 計画の効果検証と継続的な改善（ＰＤＣＡサイクル） ……93

資料編

１ 用語集 ……96
２ 町民アンケート結果 ……106
３ 錦町まちづくり委員会提言書 ……115
４ にしき・まち・ひと・しごと創生推進会議　委員名簿… 128

第１部

総　論

第１章　序　論

1　総合計画策定の趣旨と方針

本町では、町民と行政が町の将来像に対する目標を共有し、将来像の実現へ向けて各分野の施策を体系化した町の最上位計画として、昭和44年度以降、5期にわたって総合計画を策定してきたところである。

- 第１期錦町総合計画「豊かな魅力ある郷土を築こう」〔昭和44年度～〕
- 第２期錦町総合計画「豊かで潤いのある町へ」〔昭和54年度～〕
- 第３期錦町総合計画「魅力あるふるさと」〔平成元年度～〕
- 第４期錦町総合計画「人の和で輝くまち　にしき」〔平成11年度～〕
- 第５期錦町総合計画「人の和を大切にし 老いても安心して暮らせる町 若人に夢と希望が持てる町」〔平成21年度～〕

総合計画では、本町を取り巻く社会情勢や、多様化する町民ニーズに的確に対応するため、長期的展望から、まちづくりの基本理念や将来像を示すとともに、取り組むべき基本施策を定めてきた。

このような中、平成26年11月に、国において「まち･ひと･しごと創生法」が制定され、今後見込まれる人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の一極集中を是正するため、国･都道府県･市町村が一体となって連携を図りながら、それぞれの地域特性を活かした自律的で持続的な社会の創生を目指していく「地方創生」を推進していくことが示された。

国は、平成26年12月に「まち･ひと･しごと創生長期ビジョン」及び「まち･ひと･しごと創生総合戦略（平成27年度～平成31年度）」を定め、長期的な人口ビジョンに基づき、地方創生を図る取組み･施策を戦略的かつ重点的に実施していくこととした。本町においても、国などの動きを受け、平成27年10月に「錦町人口ビジョン」及び「にしき･まち･ひと･しごと創生総合戦略（平成27年度～平成31年度）」を策定し、町で取り組むべき重点的な事業を実施してきた。

そして、この地方創生総合戦略が令和元年度で終了することに伴い、令和元年6月に決定された国の「まち･ひと･しごと創生基本方針2019」において、新たに第2期目となる国の「まち･ひと･しごと創生総合戦略（令和2年度～令和6年度」を策定する方針が確認された。

本町においても、第2期目となる「にしき･まち･ひと･しごと創生総合戦略」を策定するが、錦町総合計画で想定している町を取り巻く社会情勢や町民ニーズの内容の中に、国のまち･ひと･しごと創生の理念が含まれることから、「第6期錦町総合計画」の策定においては、人口減少対策をより強化し、総合計画の更なる深化を図るため、「第6期錦町総合計画」の中に「第2期にしき･まち･ひと･しごと創生総合戦略」を融合させる形で策定することとする。

2 計画の構成と期間

構　成

この総合計画は、長期的な指針を示す「基本構想」、中期的な計画となる前期・後期に分かれた「基本計画」、及び短期的かつ具体的な事業計画となる「実施計画」の三部構成となっている。そのうえで、総合計画全体の前提として、「錦町人口ビジョン」を基本構想とともに冒頭に据え、前期の基本計画の中に「第２期にしき・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、後期の基本計画の中に「第３期にしき・まち・ひと・しごと創生総合戦略」（後年度に策定予定）を融合させている。

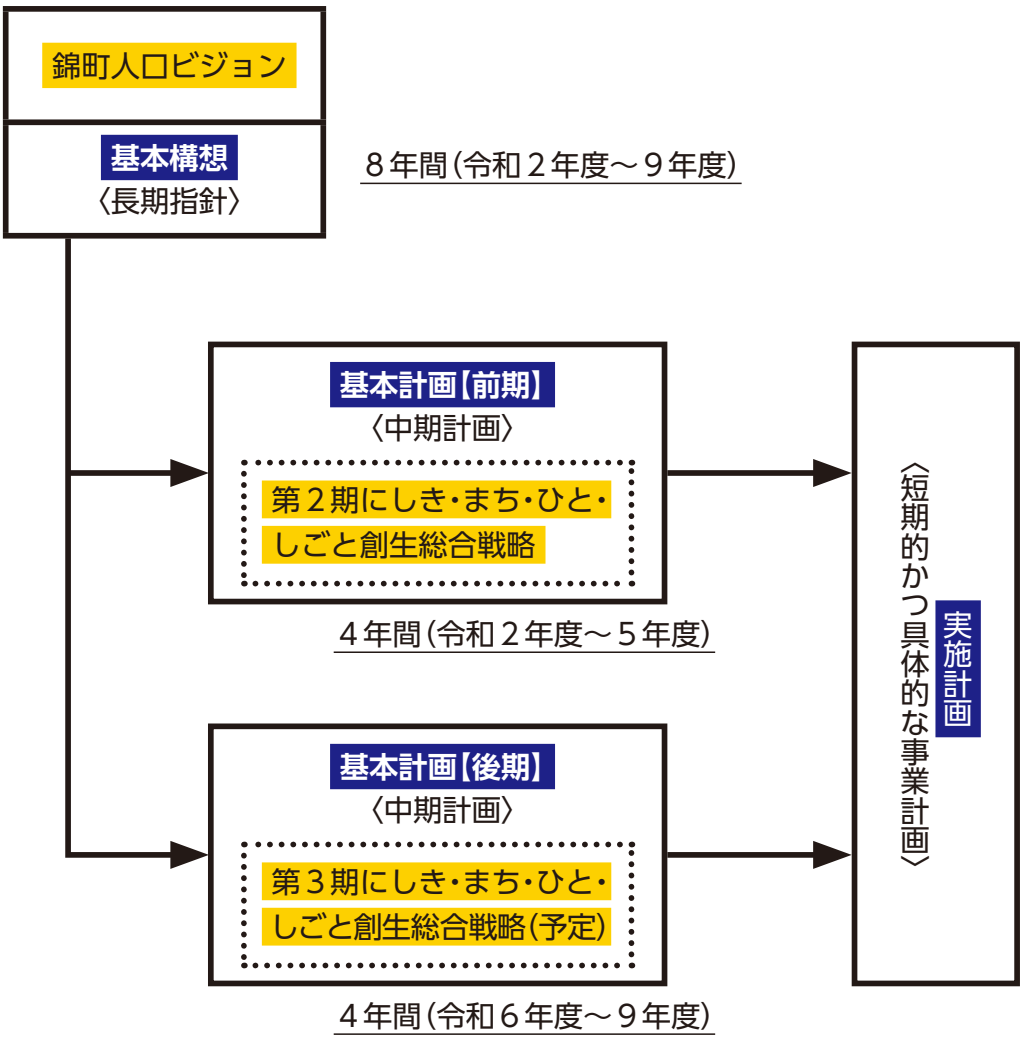
期　間

■ 基本構想：８年間（令和２年度～令和９年度）

■ 基本計画：４年間×前期・後期

（前期：令和２年度～令和５年度）

（後期：令和６年度～令和９年度）



① 基本構想

基本構想は、本町の将来像を示し、進むべき方向や基本理念を明らかにしたまちづくりと行政運営の長期指針。

【期間】８年間　令和２年度～９年度

② 基本計画

基本計画は、基本構想に示された将来像を具体的な形にするために、取り組む基本的な施策を総合的･体系的に示した中期の計画。前期と後期に分けて策定し、前期の達成状況を見ながら前半折り返しの時点で施策項目を見直し、後期計画につなげていくことにしている。

《基本計画【前期】》
【期間】４年間
令和２年度～５年度

《基本計画【後期】》
【期間】４年間
令和６年度～９年度

③ 実施計画

実施計画は、基本計画に定められた施策について、現実の行財政運営でどのように実施していくのかを具体的に明示したもので、毎年度の予算編成及び事業実施のガイドラインにもなる短期的かつ具体的な事業計画。

【期間】３年間　（毎年見直しを行うローリング方式）

にしき・まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成26年11月に制定された「まち･ひと･しごと創生法」に基づき、錦町に「ひと」を呼び込む新しい流れをつくり、定住につながる「しごと」を創出し、誰もが安心して充実した生活を送れる「まち」をつくる、地方創生の取組み･施策を戦略として定めたもの（第１期目として平成27年10月に策定。平成27年度～31年度）。

地方創生総合戦略の特徴は、戦略に定められた施策の実効性を担保するため、施策の達成目標を重要業績評価指標（ＫＰＩ:Key Performance Indicators）という数値で設定し、その進捗状況の確認と客観的な効果検証ができるようにしていることにある。また、Plan（計画）－Do（実行）したものを、前述のとおりCheck（検証･評価）して、Action（施策の見直しや総合戦略の改訂）を行う、ＰＤＣＡサイクルを回しながら施策を実行していく。

第１期目の総合戦略が終了し、第２期目を策定するにあたっては、その施策理念が共通する錦町の総合計画「第６期錦町総合計画」に融合させる形で総合計画と一体的に策定することとした。

【期間】４年間〔総合計画の基本計画【前期】と同じ期間〕　令和２年度～５年度

第２章　わが町の姿

1　位置と地勢

錦町は、熊本県の南部、球磨郡のやや南に位置し、東にあさぎり町、西に人吉市、南に宮崎県えびの市、北は相良村と接している。東経130度50分35秒、北緯32度11分52秒の地点にあり、総面積は84.93㎢である。

町内の中心部を国道219号線が東西に横断し、また国道と平行して北よりに約2キロメートル隔てて清流球磨川が西流しており、この地域一帯が水田の集積地帯となっている。

錦町マスコットキャラクター
「錦太郎（きんたろう）」

町内を大きく分けると南部と北部に区分される。南部は山麓地帯であったが、土地改良区の一連の事業により畑地灌がい的な圃場となった。その後一部が国の農村地域工業導入地区の指定を受け、企業誘致がなされており、団地化が進んでいる。また、この地帯は、錦特産の一つである梨、桃の産地でもある。北部は丘陵地帯で一部がゴルフ場となっているほか、ほとんどが国営川辺川土地改良事業区域内であり、畑地造成と区画整理等が行われている。この地帯は、全国で産地賞に輝いた錦茶の産地としても知られている。

地質は、球磨川沿岸平坦部が沖積層であるほか、南部北部とも主に洪積層の段丘堆積物で形成され、南部山岳部は泥岩が主の中世層となっている。

町全体は、緩やかな盆地であり、自然条件に恵まれた災害の少ない穏やかな地勢となっている。

2　歴　史

錦町は、旧藩時代相良藩に属していたが、廃藩置県とともに人吉県に入った。明治６年に西村、一武村は第14大区、第５小区、木上村は第６小区となった。

西村、一武村は明治17年８月に合併し、西村列と称して組合役場を設けたが、明治22年４月の町村制施行とともに分離した。

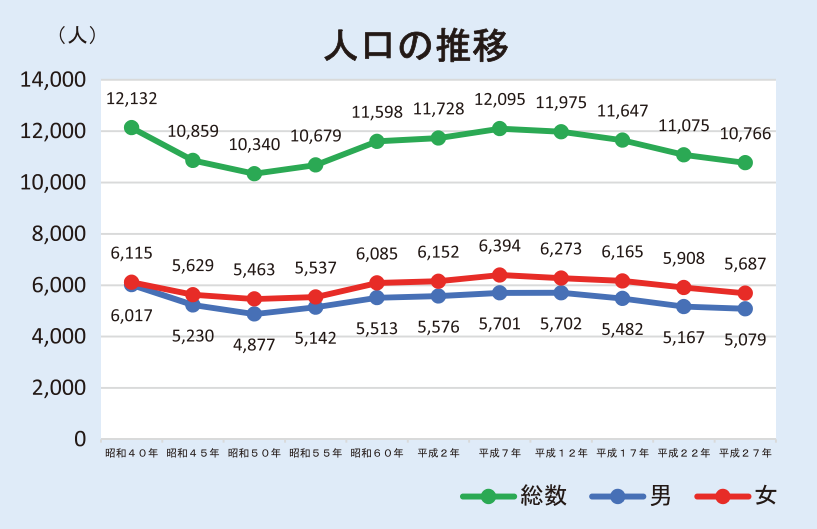
また、木上村は、明治22年7月19日に隣村の深田村（現あさぎり町）と組合を設置したが、明治27年３月31日に分離し、一行政区域となった。そして、昭和28年９月に町村合併促進法が施行され、昭和30年７月１日に旧西村、一武村、木上村が合併して錦村を設置し、さらに昭和40年４月１日に町制を施行し、平成27年７月１日で合併60周年、町制施行50周年を迎えた。

3 人　口

① 人口と世帯数

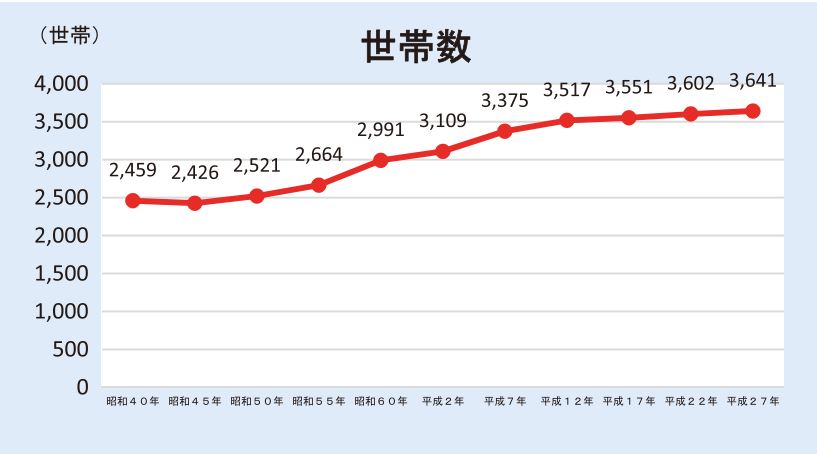
平成27年の国勢調査による錦町の人口は、10,766人で、平成22年の前回調査より2.79%減少している。

昭和30年の錦村設置時から減少傾向にあったが、社会基盤の整備や企業誘致に努め、その結果、昭和55年から平成7年までは増加したものの、その後は逓減傾向にある。



（資料：国勢調査）

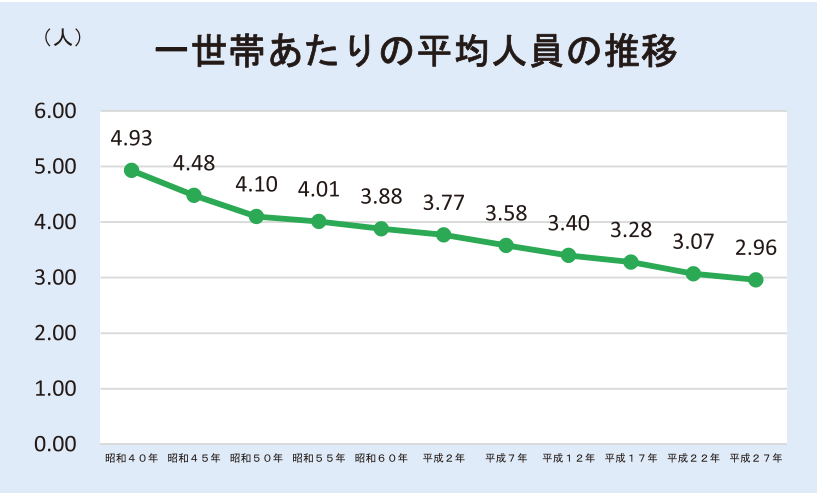
世帯数は、昭和45年の2,426世帯を境にして増加傾向にあり、平成22年には3,602世帯となり、平成27年には3,641世帯とさらに増加している。



（資料：国勢調査）

世帯数の増加に対し、1世帯あたりの平均人員は、年々減少している。

これは、核家族や単身世帯が増加していることが主な原因である。

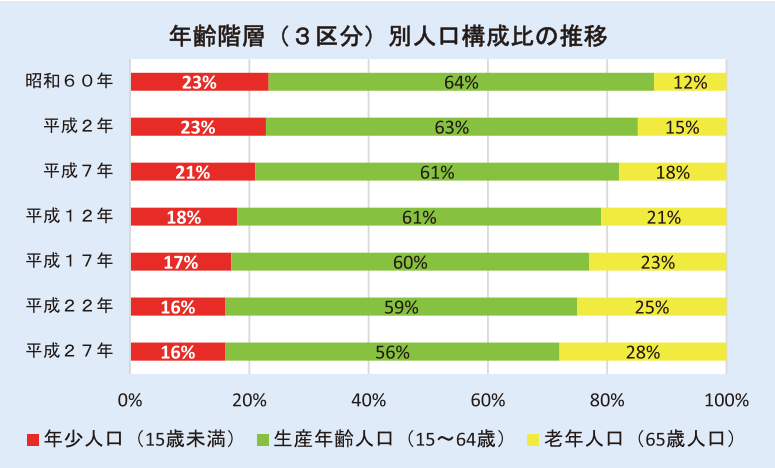


（資料：国勢調査）

② 年齢階層別人口と高齢化率

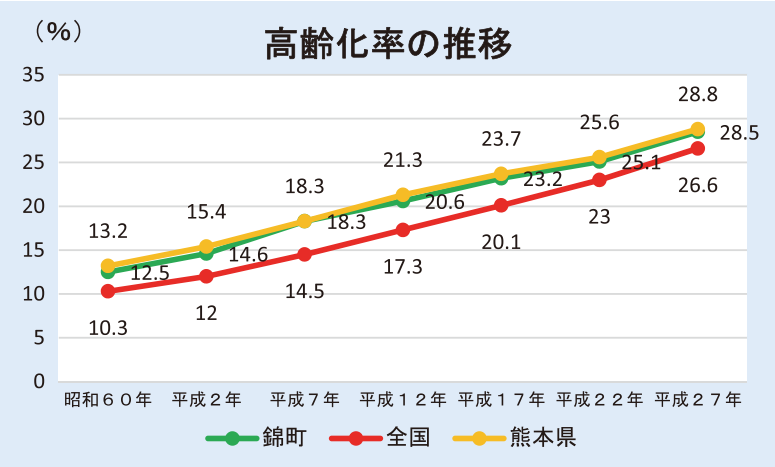
昭和60年と平成27年の年齢階層（3区分）別人口構成比の推移を見ると、15歳未満の年少人口の割合は7ポイント減少し、15歳から64歳までの生産年齢人口も8ポイント減少している。

一方、65歳以上の老年人口の割合は16ポイント増加しており、着実に少子高齢化が進んでいることを表している。



（資料：国勢調査）

高齢化の推移を見ると、右肩上がりで伸びており、平成27年の熊本県と本町を比較すると0.3ポイント低い割合となっており、全国と比較すると1.9ポイント高くなっている。



（資料：国勢調査）

③ 人口動態

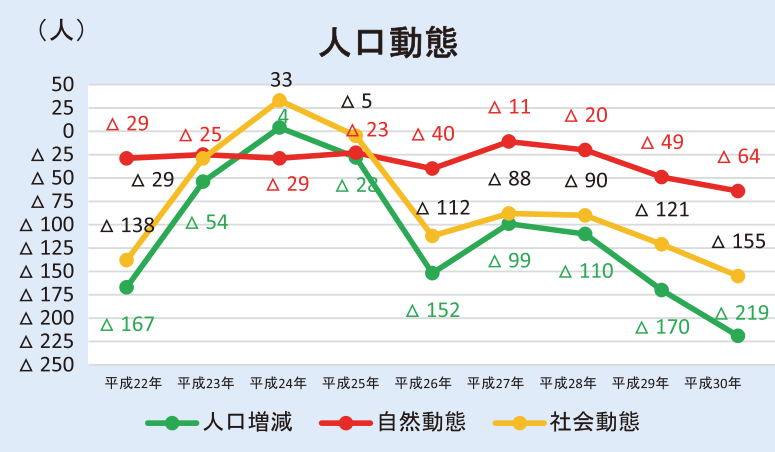
自然動態

自然動態は、出生数から死亡数を差し引いた値で示されるが、本町においては、大きな起伏がないものの、年々減少傾向にある。

社会動態

社会動態は、転入者数から転出者数を差し引いた値で示され、本町では転入者を転出者が上回る傾向にある。

特に若年層が求める職種が不足している等により、進学や就職を機に町外への転出者が増えていることが主な原因と思われる。

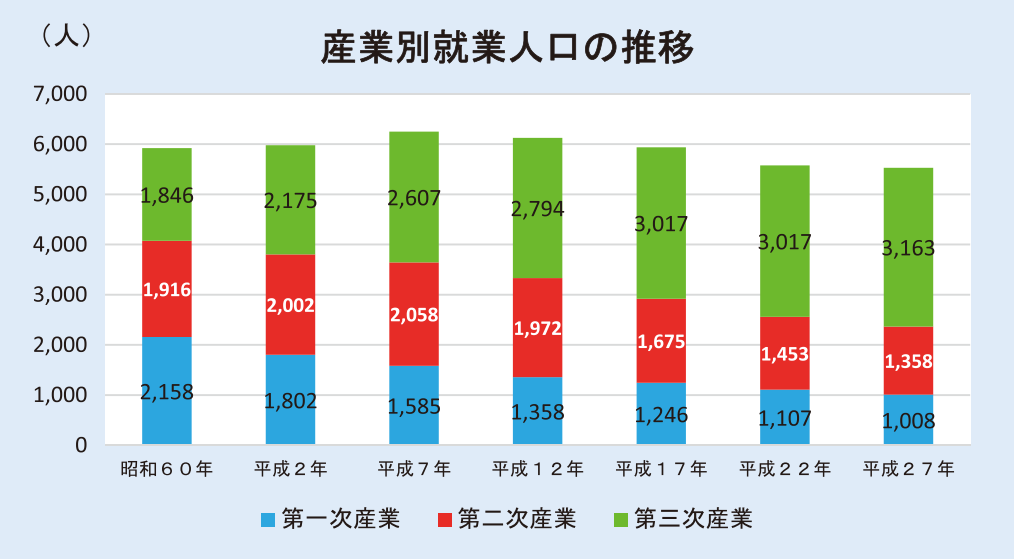


（資料：住民基本台帳）

4 産　業

① 産業別就業人口

本町の就業人口は、平成７年をピークに年々減少しており、平成27年国勢調査では5,529人と、ピーク時に比べ721人が減少している。

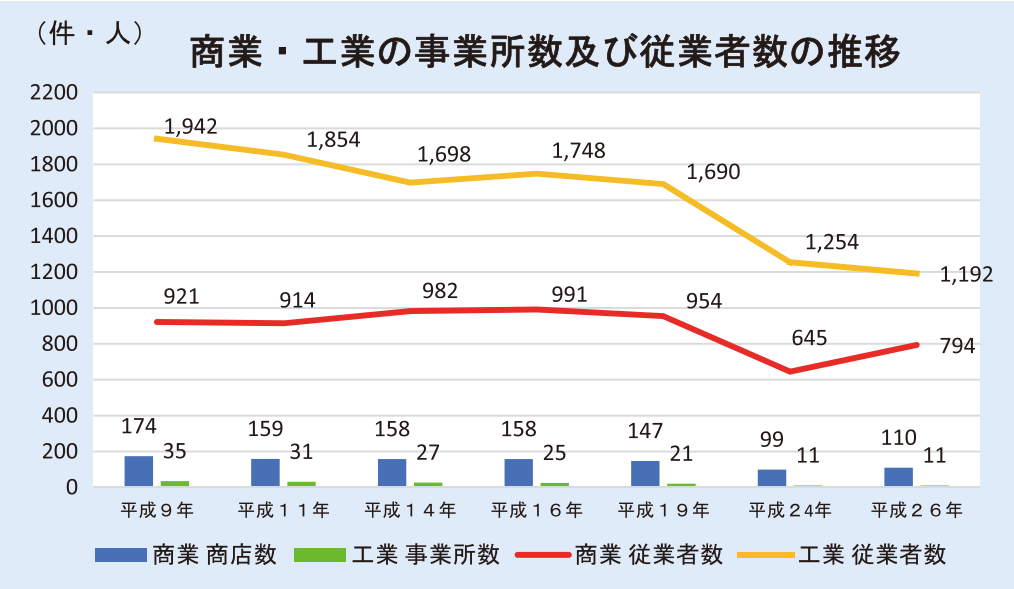


（資料：国勢調査）

また、第１次産業は、昭和60年の2,158人に比べると、平成27年までに1,150人が減少しており、高齢化による後継者不足が伺える。

第２次産業は、平成７年をピークに平成27年まで700人が減少している。

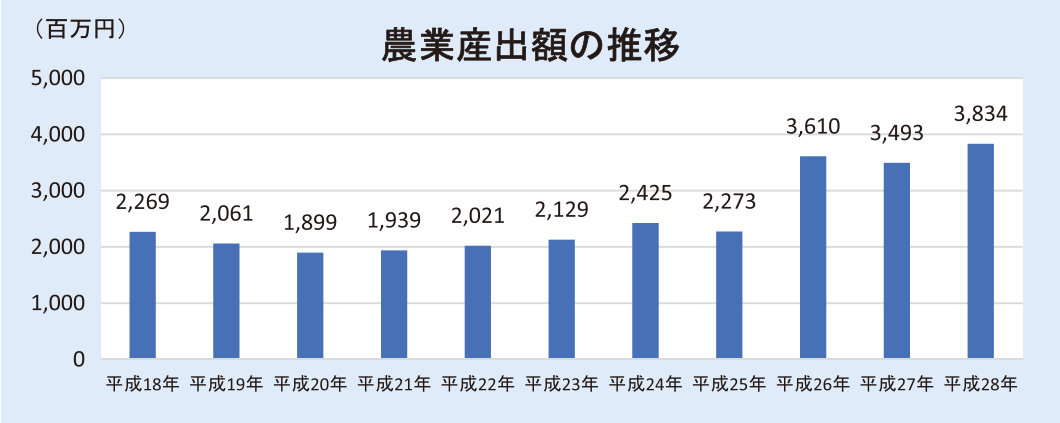
第３次産業は、昭和60年の1,846人から平成27年までに、1,317人が増加しており、本町の就労形態を大きく変化させている。



（資料：商業統計調査・工業統計調査）

② 農業産出額

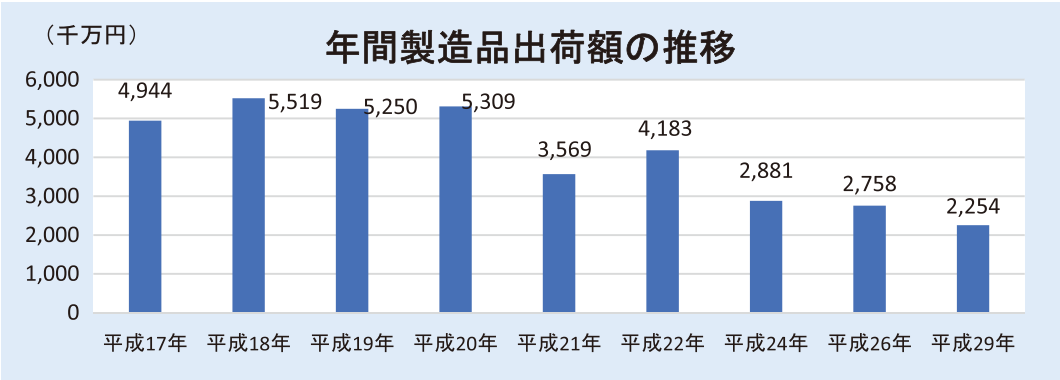
農産物の販売等により農家が得た利益額を示す農業産出額の推移をみると、（平成26年調査から算出方法が変わり額の規模が大きくなっているが）全体として横ばいの状況にある。



（資料：市町村民経済計算）
※平成26年度以降は算出方法が変更されたため、数値が大きくなっている。

③ 製造品出荷額

半導体関連企業や輸送用機械関連企業が立地する工業団地を有する本町の年間製造品出荷額は、平成20年のリーマンショックによる世界的な不況等の影響を受け、平成21年に減少した。その後、反動により持ち直したものの、企業の経営合理化や事業所数の減少等の影響を受け、減少傾向にある。



（資料：工業統計調査）

5 錦町の地域特性

① 地理的利便性と生活機能の充実

本町は、九州自動車道人吉インターチェンジに近く、さらに令和元年８月には国道219号線に接続する人吉球磨スマートインターチェンジが開通したことで、高速交通網へのアクセスがより向上した。九州新幹線新八代駅までは約30分、鹿児島空港までは約１時間での移動が可能である。

本町の大動脈である国道219号線沿いには、多くの民間集合住宅の集積が進んでおり、居住環境の充実が図られている。また、豊かな自然環境の中にあって、小中学校や高校、図書館、体育館や公園等の公共施設を始め、医療機関や介護施設、スーパーやコンビニエンスストア等の生活インフラも整い、程よい利便性を兼ね備えている。人吉球磨地域の中核都市である人吉市に隣接しているため、通勤や通学、買い物、通院等において、本町で満たされないニーズもほぼ満たされる状況にある。

② 自然環境と豊富な地域資源

本町は、九州山地に囲まれた人吉盆地のほぼ中央に位置し、東西を流れる球磨川の左岸には、５月末から６月上旬にかけ全国有数の群生を誇る野生のバラ「ツクシイバラ」が咲き誇り、６月から７月には蛍を観賞することができるなど、風光明媚で豊かな自然環境を形成している。

古くから米や野菜、たばこ等が盛んに栽培されてきたが、特に、桃、栗、いちご等の果物の生産が盛んで、「フルーツの町」として親しまれている。また、畜産業も盛んで、地元の飲食店が特産のホルモンを使った様々な調理法のホルモン料理を提供する「ホルモン街道」は町の名物となっている。

自然の造形が美しい渓谷や遊泳場では夏場を中心にキャンプ等が楽しめ、平坦部一帯に整備されたサイクリングロードは、多くのサイクリストに親しまれている。また、町内には日本遺産に指定された神社を始め多くの史跡が点在している。近年は、太平洋戦争末期に町一帯に整備された人吉海軍航空基地の遺構等を紹介する人吉海軍航空基地資料館が注目を集めている。

ツクシイバラ